

令和6年度胎内市ひきこもりフォーラム

## 「生きづらさ」をみんなで考える

令和7年2月24日（月・振休）午後1時～3時30分

場所：胎内市産業文化会館 多目的ホール

【共催】胎内市 NPO 法人ミンナのチカラ

【協力】社会福祉法人胎内市社会福祉協議会

【後援】新潟県精神保健福祉センター 新潟県新発田地域振興局

## 【プログラム】

1 開会あいさつ

2 「胎内市民の日常生活のお困りごとに関するアンケート」集計速報値報告

報告者 <sup>はやみ</sup>速水 <sup>りゅう</sup>隆 (NPO 法人 ミンナのチカラ代表理事)

3 講演

「生きるって、なに？ ～自分らしく生きて、自分を好きになろう！～」

講師 たかの てるこ 氏 (地球の広報・旅人・エッセイスト)

— 休憩 —

4 トークセッション「誰かの“生きる”を応援する」

パネリスト たかの てるこ 氏

<sup>むらやま</sup>村山 <sup>けん</sup>賢 氏 (NPO 法人 新潟ねっと 代表)

コーディネーター <sup>なかむら</sup>中村 <sup>けん</sup>健 氏

(新潟大学歯学部口腔生命福祉学科 准教授)

5 閉会

※開会前及び閉会後にたかのてるこさんサイン&ハグ会あり

## 【講師プロフィール】

### ★たかの てるこ さん 地球の広報・旅人・エッセイスト



「世界中の人と仲良くなれる！」と信じ、7大陸、70カ国を駆ける旅人。

18万部超のベストセラー『ガンジス河でバタフライ』は、“旅のバイブル”として広く支持され、主演・長澤まさみ×脚本・宮藤官九郎（くどう かんくろう）で、ドラマ化もされ話題に。

憧れのダライ・ラマに出会うまでの神秘的なチベット体験を綴った『ダライ・ラマに恋して』や、朝日新聞の

【天声人語】に「イスラム教の理解を深める本」として紹介された『モロッコで断食』『サハラ砂漠の王子さま』『キューバでアミーゴ！』『ジプシーによろこそ！』『純情ヨーロッパ』『人情ヨーロッパ』『あっぱれ日本旅！』など、著書多数。

2011年、18年間勤めた映画会社を退社し、独立。

世界中の魅力を伝えるラブ&ピースな“地球の広報”として出版、全国での講演、メディア出演、大学講師など、幅広く活動中。

独立後、全国の小中高大学や自治体等での講演がライフワークになり、講演回数は500回以上♪

旅での経験から「みんな、同じ地球で、同じ時代を生活している仲間なんだ！」  
「自分への愛をケチらず、自分をほめちぎって、愛いっぱい生きよう！」  
と呼びかける講演は、笑いに満ち、全国で大人気！

★HP <https://www.takanoteruko.com>

↑出演したラジオ番組が聴けるアーカイブURLも載せてますのでよかったです♪

★X (旧 Twitter) @terukotakano

↑最近の講演の様子がごらんになれます♪

★terubooks (テルブックス) <https://terubook.thebase.in>

500円で笑顔になれる♪『生きるって、なに？』シリーズ全4作をシェアしてくださる方に、Amazonや書店よりも安価でシェアさせていただいています。

☆<sup>むらやま けん</sup>村山賢 氏 NPO 法人 新潟ねっと代表理事



<sup>しゃかいふくしし</sup>社会福祉士【第 178605 号】 <sup>せいしんほけんふくしし</sup>精神保健福祉士【第 100884 号】

- 2015 年 3 月 任意団体「新潟ねっと」を設立。
- 2015 年 4 月 新潟市西区社会福祉協議会とともに坂井輪地区公民館で月一回開催の居場所を開始。
- 2015 年 7 月 現所在地（新潟市西区坂井東）に事務所開設。  
居場所『イツモノトコ』オープン。
- 2015 年 11 月 特定非営利活動法人 新潟ねっと に組織変更。
- 2016 年 1 月 新潟県パーソナル・サポート・センター、津南町社会福祉協議会との事業連携で『イツモノトコ in 津南』に参画。
- 2016 年 3 月 就労準備支援事業所「晴れる屋」の新潟市西区サテライトとして活動開始。
- 2017 年 4 月 新潟市の委託事業である生活困窮者自立支援制度に基づく就労準備支援事業を開始。
- 2020 年 4 月 村上市『ひきこもり会議』のスーパーバイザーに就任。
- 2020 年 10 月 内閣府 アウトリーチ研修修了
- 2021 年 4 月 新潟市西区社会福祉協議会と専門職の協議体『西区ひきこもりびとミーティング』の立ち上げに参画。座長に就任。
- 2022 年 4 月 関川村社会福祉協議会『ひきこもり支援プロジェクトチーム会議』のスーパーバイザーに就任。
- 2022 年 7 月 現所在地（新潟市西区坂井東）の事務所内にレザークラフト工房開設。
- 2023 年 10 月 子ども家庭庁 アウトリーチ上級研修修了

イツモノトコ NPO 法人 新潟ねっと ホームページ (<https://niigatanet.com>)

なかもら けん  
☆中村 健 氏 新潟大学歯学部（福祉学分野） 准教授



2003年4月新潟市役所 福祉事務所 ケースワーカー  
2016年4月 同 査察指導員  
2020年4月～ 現職

新潟市役所で、たまたま配属された生活保護ケースワーカーの仕事にやりがいを感じ、公務員生活の3/4にあたる15年間を福祉事務所職員として生活保護行政に携わる。担当した生活保護利用者は1,000人以上。様々な生きづらさを抱えた方と出会い、関わりを持たせてもらう。

プライベートでは、公的扶助研究会に参加し、全国のケースワーカー仲間たちと、学び合い、そして交流を重ねるうちに、研究会活動にもどっぷりハマる。

転職後は、学生へ福祉の仕事の魅力を伝える他、福祉事務所職員の相談役として全国のケースワーカーから相談を受けている。また、生活保護制度の誤解や偏見を無くすため、各地で講演活動を行っている。

（委員歴）

全国公的扶助研究会副会長、にいがた公的扶助研究会副会長、新潟市社会福祉協議会評議員、新潟県社会福祉士会理事、一般財団法人未来応援にいがた理事、新潟県ヤングケアラー支援検討会議委員、新潟県こども計画有識者会議委員、新潟県子どもの貧困対策推進検討委員会委員、生活保護ケースワーカー等の研修のあり方に関する調査研究委員、福祉事務所における新たな支援に係るケースワーカーと関係機関との効果的な連携方策のあり方に向けた調査研究委員、保護の実施機関における組織的運営管理と査察指導の具体的手法に関する調査研究委員、他

（書籍出版物）

「貧困に対する支援」ミネルヴァ書房 2022年5月  
( ISBN:9784623093816 )

中村健, 金子充, 田中秀和, 立花直樹

新潟大学歯学部 <https://www.dent.niigata-u.ac.jp>

# 令和6年度胎内市ひきこもりフォーラム

## 胎内市民の日常生活のお困りごとに関するアンケート調査結果報告（速報版）

### ■ 調査の背景

近年、少子高齢化や核家族化の急速な進行、若者の都市部流出等を背景に家族や地域の支え合い機能の低下が懸念されている。

### ■ 調査の目的

胎内市における施策の立案等の参考とする。

問15 あなた及びご家族が今の暮らしで感じているお困りごとについて、ご自由にお書きください。

F1 あなたの年齢は次のどれですか？（○は1つだけ）

- |           |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 15～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 |
| 6. 60～69歳 | 7. 70～79歳 | 8. 80～89歳 | 9. 90歳以上  |           |

F2 あなたの性別は次のどれですか？（○は1つだけ）

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

F3 あなたがお住まいの地域はどこですか？（○は1つだけ）

- |         |        |         |         |           |
|---------|--------|---------|---------|-----------|
| 1. 中条地区 | 2. 乙地区 | 3. 築地地区 | 4. 黒川地区 | 5. その他（ ） |
|---------|--------|---------|---------|-----------|

F4 あなたがお住まいの郵便番号の下4桁は何ですか？（郵便番号の下4桁を口に入力）

959-□□□□

※詳細な地域別の状況について把握するための質問です

F5 あなたはどなたと住んでいますか。（○はいくつでも）

- |                |              |               |            |
|----------------|--------------|---------------|------------|
| 1. ひとり暮らし      | 2. 配偶者・パートナー | 3. こども（既婚）    | 4. こどもの配偶者 |
| 5. 孫           | 6. こども（未婚）   | 7. 本人または配偶者の親 | 8. 兄弟姉妹    |
| 9. その他（具体的に羅列） |              |               |            |

F6 その他、ご意見があればご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。  
お手数ですが、**1月12日(金)まで**にご投函いただきますようお願いいたします。

### 胎内市民の日常生活のお困りごとに関するアンケート調査ご協力をお願い

このアンケート調査は、胎内市に暮らす市民の皆さまを対象に日常生活における困りごとを調査し、「住み続けたい・住み心地の良い胎内市」を実現するための現状把握及び施策づくりに反映させるものとして実施するものです。

アンケート調査をお願いするのは、市内に居住する皆さまです。世帯に1枚調査票を配付いたしますのでご家庭の状況をお答えください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年12月吉日  
胎内市長 井瀬 明彦

#### ※ご記入にあたって

- 質問への回答は世帯の状況を把握している方が行ってください。
- **12月1日現在の状況**で記入してください。
- 回答は、設問ごとに指定された個数の選択肢を選び、数字に○をつけてください。「その他」を選んだ場合には、（ ）の中にその具体的な内容も記入してください。
- このアンケートは**無記名**です。また、調査結果は統計的に処理しますので、個人情報やプライバシーに関わる情報が公表されることはありません。
- 記入済の調査票は、**同封の返信用封筒に入れて、健康調査票とともに令和6年1月12日（金曜日）までにお近くのポストにご投函ください**（切手は不要です）。
- このアンケートはインターネットでもご回答いただけます。右の二次元コード（QRコード）またはURLから回答フォームにアクセスできます。その場合、郵送は不要です。 URL: <https://forms.gle/sM5cXTjcE3Gh7vV78>
- 内容や記入方法についてご不明な点がありましたら下記までお問合せください。  
胎内市健康づくり課 元気応援係 担当：樽（デン） 電話：0254-44-8680（直通）  
FAX：0254-44-8641  
E-mail: [genki@city.tainai.lg.jp](mailto:genki@city.tainai.lg.jp)



問1 あなたとご家族が日常生活において不安に思っていることは何ですか？（○はいくつでも）

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 収入      | 2. 自分の健康や病気 | 3. 家族の健康や病気 |
| 4. 生きがい    | 5. 自分の就労    | 6. 家族の就労    |
| 7. 自然災害    | 8. 犯罪       | 9. 買い物      |
| 10. ゴミ出し   | 11. 掃除・洗濯   | 12. 移動手段の確保 |
| 13. 除雪     | 14. 子育て     | 15. 生活環境    |
| 16. その他（ ） |             |             |

不安に思っていることは具体的にどんなことですか？（自由記載）

問2 あなたとご家族は日常生活の心配ごとや悩みごとの相談を誰にしますか？（〇はいくつでも）

1. 親	2. 配偶者・パートナー	3. ご自身の子ども
4. 兄弟姉妹	5. その他親戚	6. 友人・知人
7. 近所の人	8. 職場の同僚・上司	9. 集落・自治会代表者
10. 市役所の人	11. 民生委員・児童委員	12. 相談する相手がない
13. その他（ ）		

問3 あなたとご家族の近所の方との付き合い方はどんな状況ですか？（〇は1つだけ）

1. 常に訪問し合う人がいる	2. 困ったときに気軽に相談できる人がいる
3. あいさつを交わす程度	4. 付き合いがない
5. その他（ ）	

問4 あなたとご家族はお住まいの地域で行っている地域活動（集落・自治会の祭りや清掃活動など）に参加していますか？（〇は1つだけ）

1. 参加している	2. 過去に参加していたが、今は参加していない
3. 参加したことがない	4. その他（ ）

問5 あなたのご家庭の中に（回答者自身を含めて）、65歳未満の方で、仕事や学校に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方はいますか？（〇は1つだけ）  
なお、いる場合はその人数もご記入ください。

1. いる（ ）人）	→ 問6へ。なお、該当者が2人以上いる場合は年齢の一番高い方についてお答えください。>
2. いない	→ 問15へ>

問6 その方とあなたの続柄はなんですか？（〇は1つだけ）

1. 本人	2. 配偶者・パートナー	3. 兄弟姉妹
4. 子ども（既婚）	5. 子ども（未婚）	6. 子どもの配偶者
7. 本人または配偶者の親	8. 孫	
9. その他（ ）		

問7 その方の年齢は次のどれですか？（〇は1つだけ）

1. 14歳未満	2. 15～19歳	3. 20～29歳	4. 30～39歳	5. 40～49歳
6. 50～59歳	7. 60～64歳			

問8 その方の性別は次のどれですか？（〇は1つだけ）

1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
-------	-------	----------

問9 その方の交流はどんな状況ですか？（〇はいくつでも）

1. 家族ともほとんど会話がでない	2. 家族とは会話するが、家族以外の人とは交流がない
3. 人と会うことはほとんどないが、SNS、インターネット、電子メール等を通じて人と交流している	
4. 趣味のために人と会うことはある	5. 近隣住民とは交流がある
6. その他（ ）	

問10 その方の外出はどんな状況ですか？（〇はいくつでも）

1. ほとんど外出しない
2. 普段は家にいるが、一人で買い物に出かけることはある
3. 普段は家にいるが、一人で趣味や遊ぶために外出することはある
4. 普段は家にいるが、家族と一緒に外出することはある
5. その他（ ）

問11 その方が現在の状況になって、どのくらい経ちますか？（〇は1つだけ）

1. 6か月未満	2. 6か月～1年未満	3. 1年～3年未満
4. 3年～5年未満	5. 5年～7年未満	6. 7年～10年未満
7. 10年以上		

問12 その方が現在の状況に至ったきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

1. 学生時代にいじめにあった	2. 学校（部活動を含む）になじめなかった
3. 受験に失敗した	4. 就職活動がうまくいかなかった
5. 職場になじめなかった	6. 友人や家族との人間関係がうまくいかなかった
7. 長期に療養を要する病気にかかった	8. 事故や疾病などにより要介護状態になった
9. 家族や親戚のお世話をすることになった	
10. その他（ ）	

問13-1 その方の現在の状態について、どなたかに相談したことはありますか？（〇は1つだけ）

1. ある	2. 過去にしたことはあるが、今はしていない	3. 相談したことがない
-------	------------------------	--------------

問13-2 相談した相手・機関は誰・どこですか？（〇はいくつでも）

1. 医療機関	2. 市役所	3. 社会福祉協議会
4. 保健師	5. 家族・親戚	6. ケアマネジャー
7. 相談員	8. 民生委員・児童委員	9. その他（ ）

問13-3 相談して感じたことを教えてください（自由記載）

問14 その方にとって、これから必要と思われることはありますか？（〇はいくつでも）

1. 友だちや仲間づくり	2. 身体・精神面について相談できる専門機関
3. 就労に向けた準備、アルバイトや働き場の紹介	
4. 定期的（または不定期）な訪問相談の機会	
5. 定期的（または不定期）に家族が相談できる機会	
6. いつでも気軽に立ち寄れる居場所やサロン	
7. 趣味活動ができる場所	8. 生活費についての相談
9. 自立に向けたきっかけづくり	10. なにも必要ない、今のままでよい
11. その他（ ）	

## 調査概要

### 調査対象

胎内市の全世帯  
ただし、特養などの施設を除く  
(9,802世帯)

### 調査期間

令和5年12月から  
令和6年1月12日まで

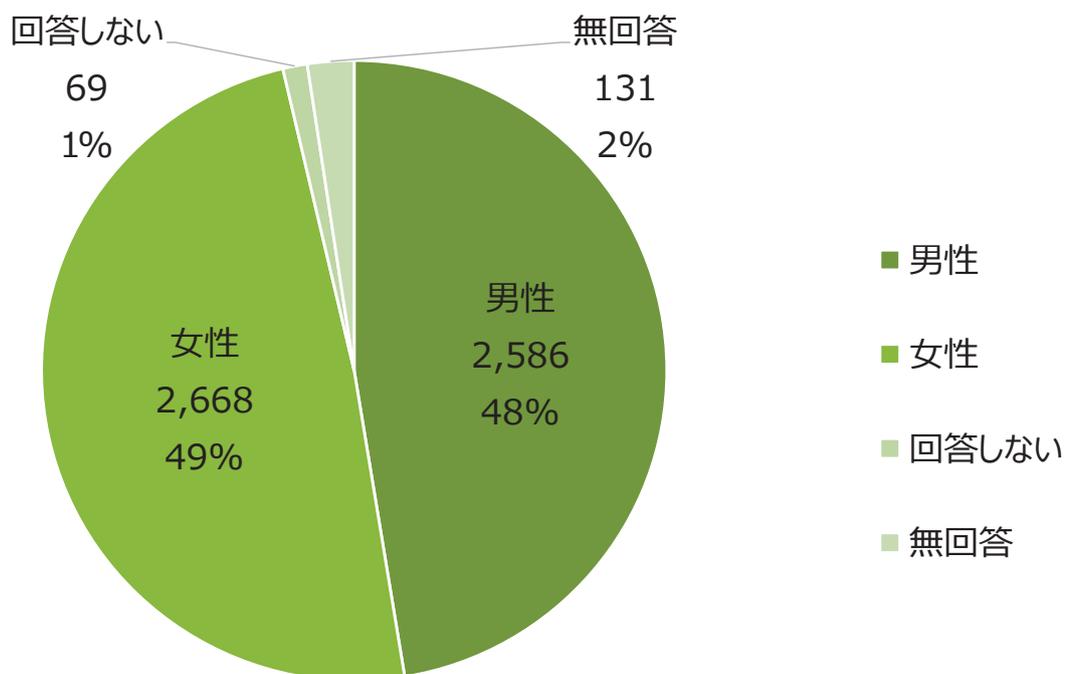
### 配付方法 回収方法

健康調査票への同封  
返信用封筒で回収、ウェブ回答

### 調査票回収数・有効回答数 (回収率・有効回答率)

5,470部・5,454部  
書面5,307、ウェブ回答163  
(55.8%・55.6%)

## 回答者の性別

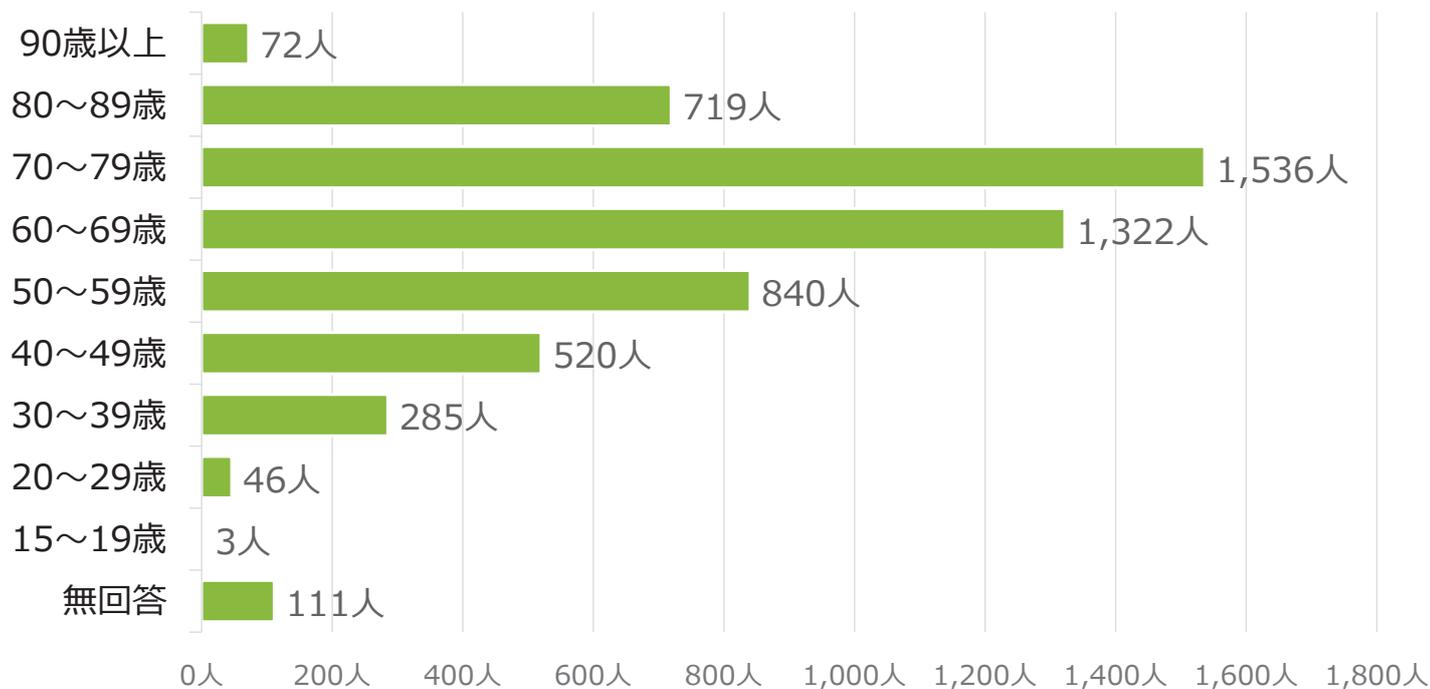


n=5,454

- 男性2,586人 (47.4%)、女性2,669人 (48.9%)、回答しない69人 (1.3%) であった

5

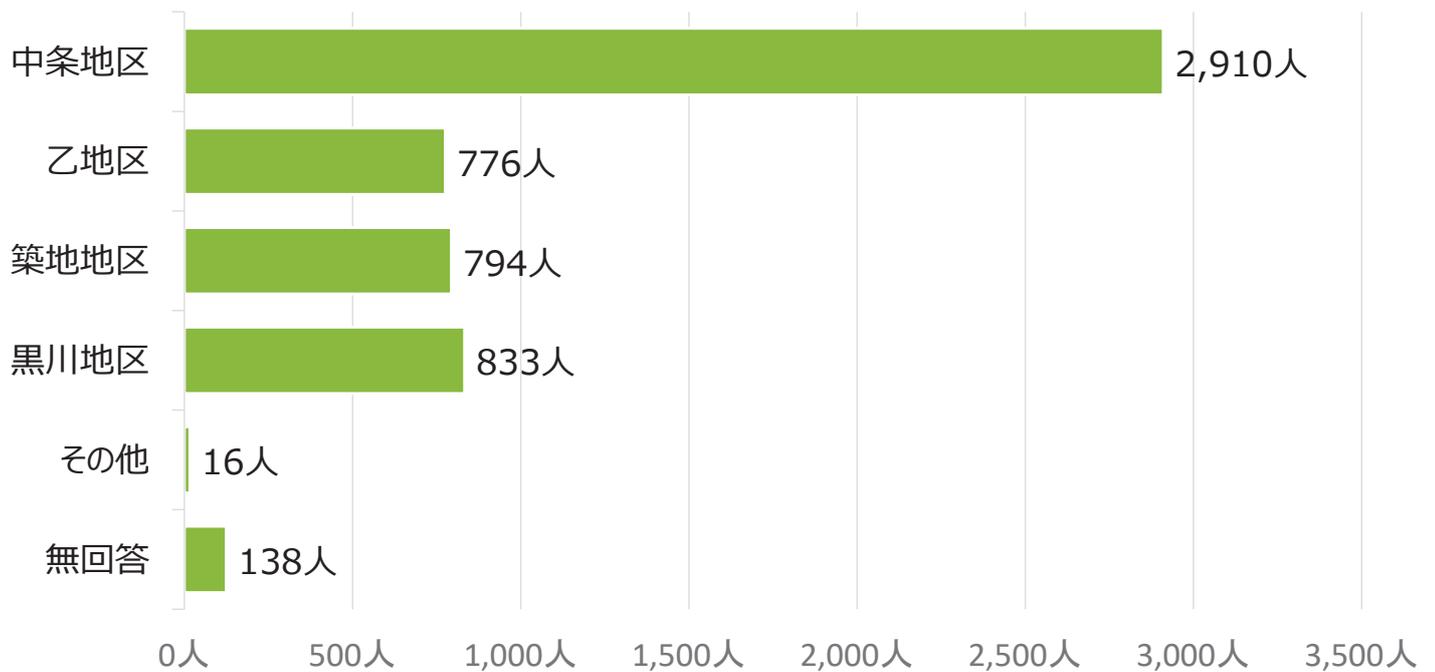
## 回答者の年齢



n=5,454

- 一番多かったのは「70代」(1,536人、28.2%)  
次いで「60代」(1,322人、24.2%)、「50代」(840人、15.4%) となった

## 回答者のお住まい

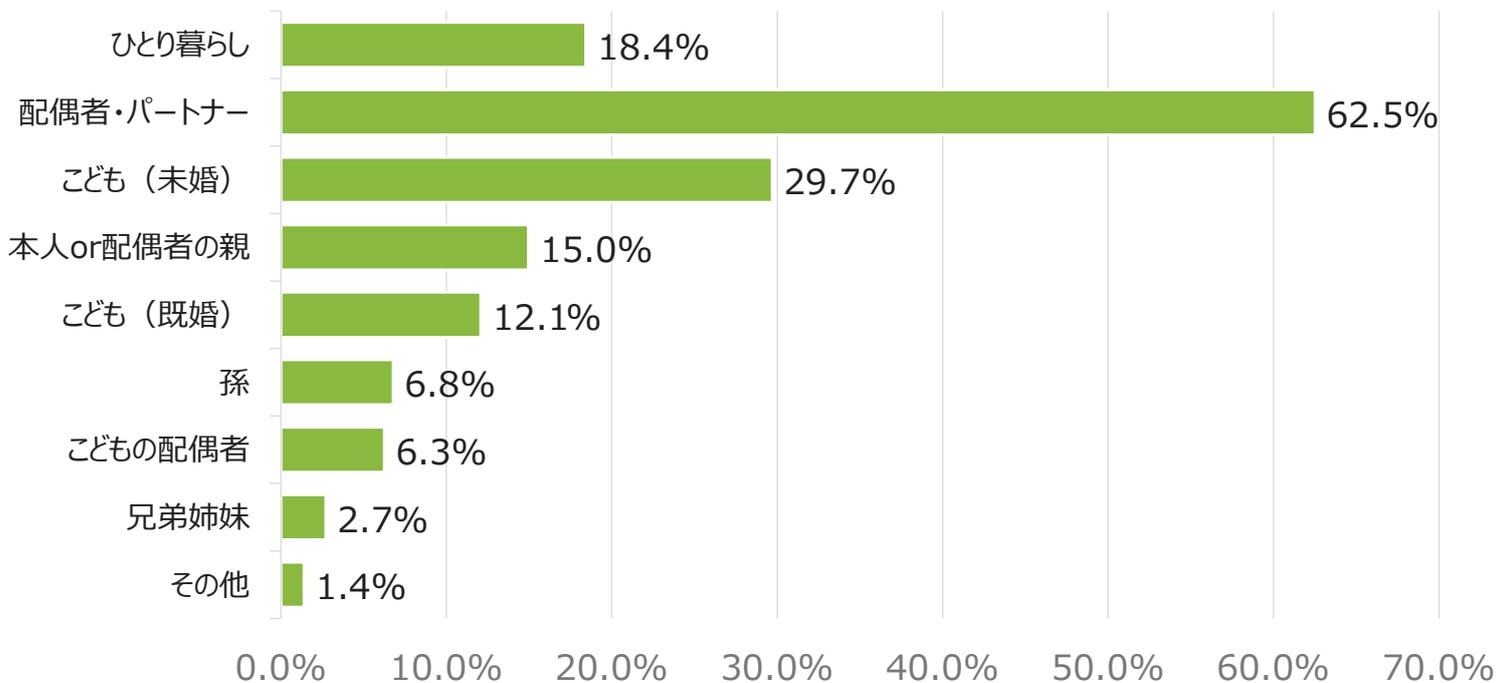


n=5,454

- 一番多かったのは「中条地区」(2,910人、53.4%)  
次いで「黒川地区」(833人、15.3%)、「築地地区」(794人、14.6%)となった

7

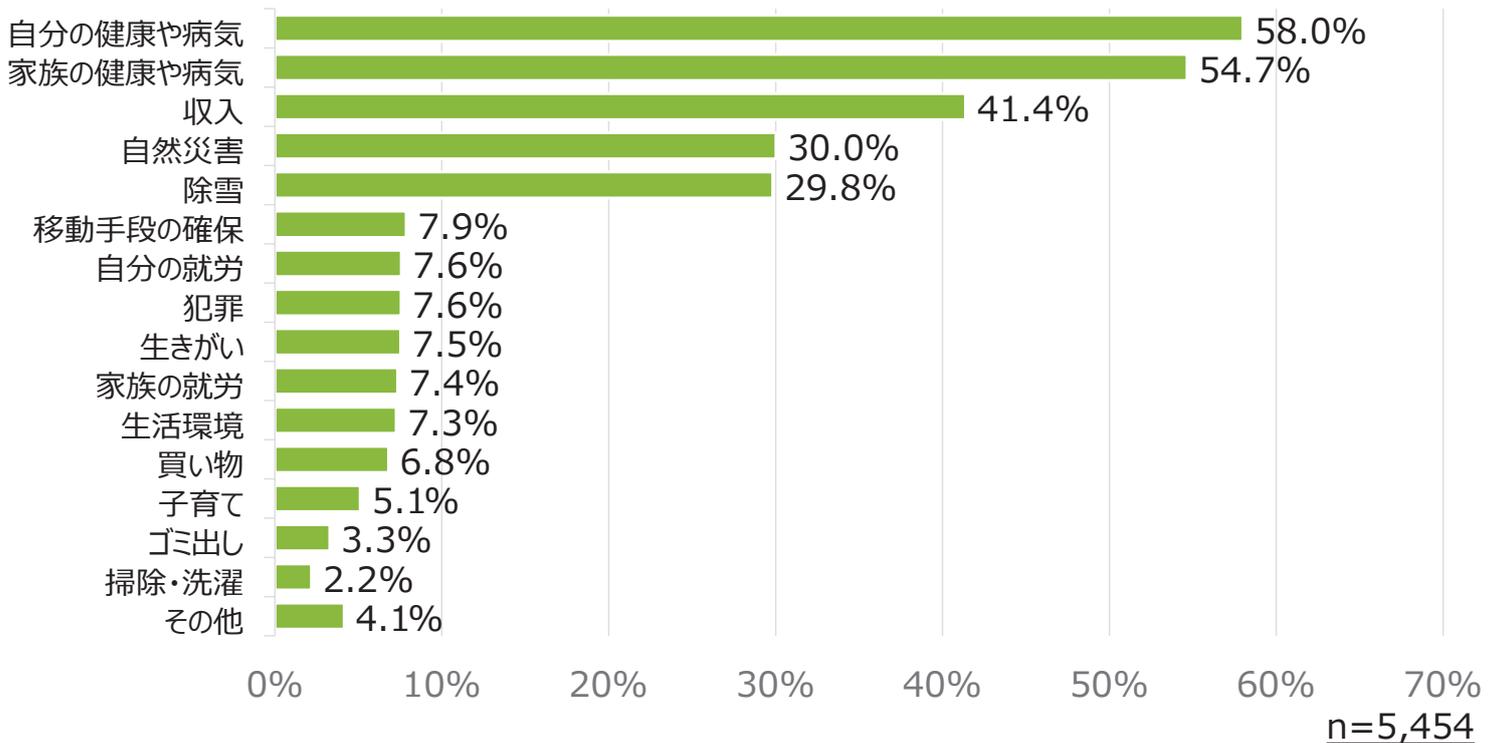
## 誰と住んでいるか



n=5,454

- 一番多かったのは「配偶者・パートナー」(3,409人、62.5%)、次いで「こども(未婚)」(1,620人、29.7%)、「ひとり暮らし」(1,005人、18.4%)となった

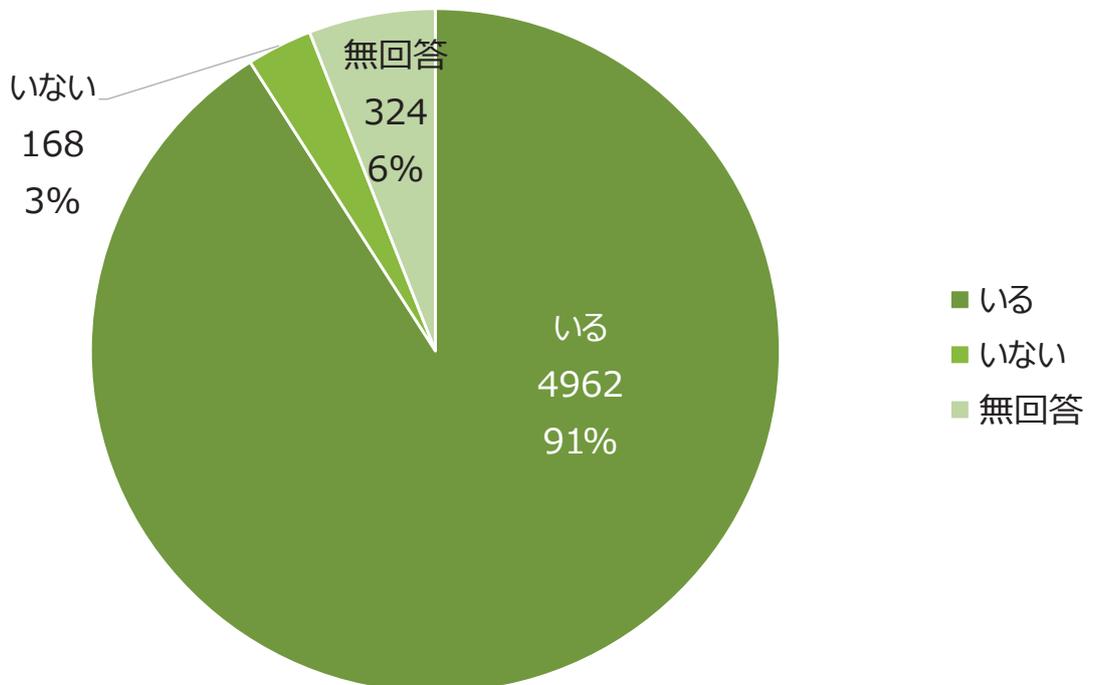
## 日常生活上の不安



■ 一番多かったのは「自分の健康や病気」(3,163人、58.0%)、次いで「家族の健康や病気」(2,981人、54.7%)、「収入」(2,257人、41.4%)となった

12

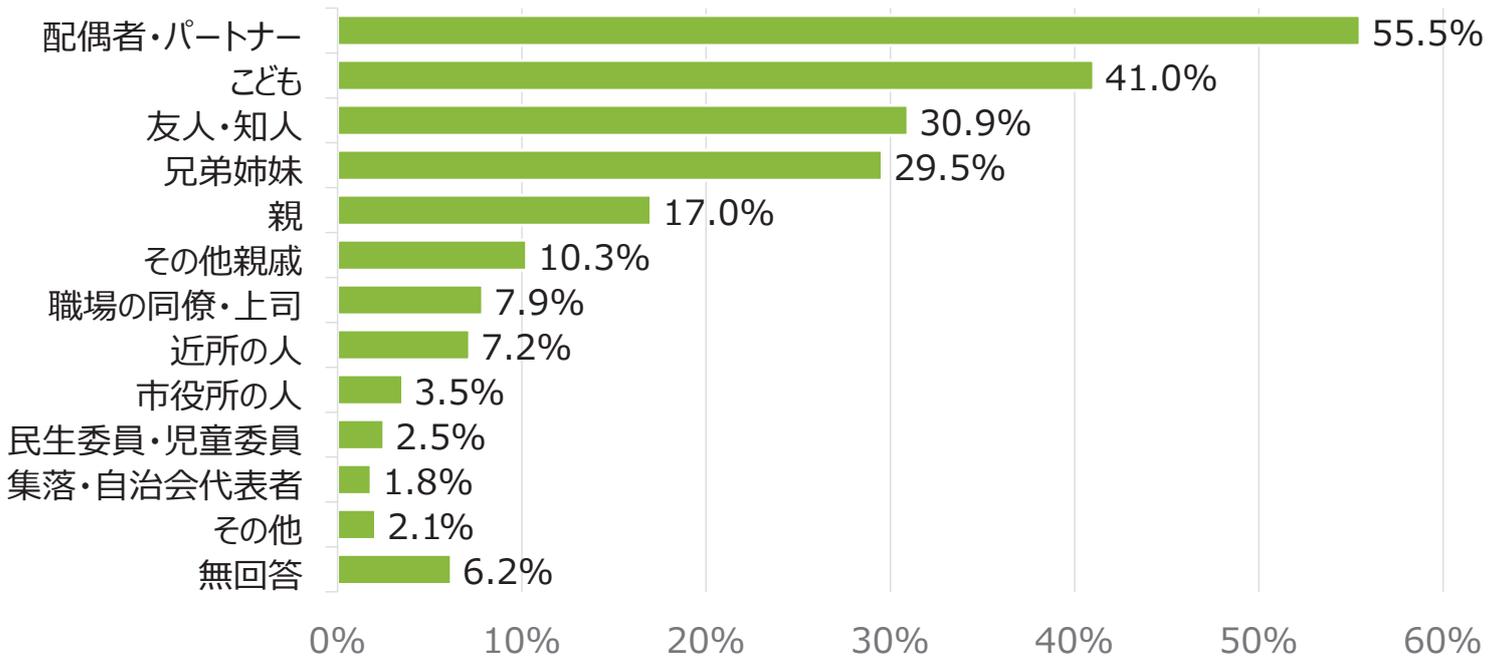
## 日常生活における心配ごと等の相談相手の有無



n=5,454

■ 相談相手がいる4,962人(91%)、いない168人(3%)であった

## 日常生活における心配ごと等の相談相手

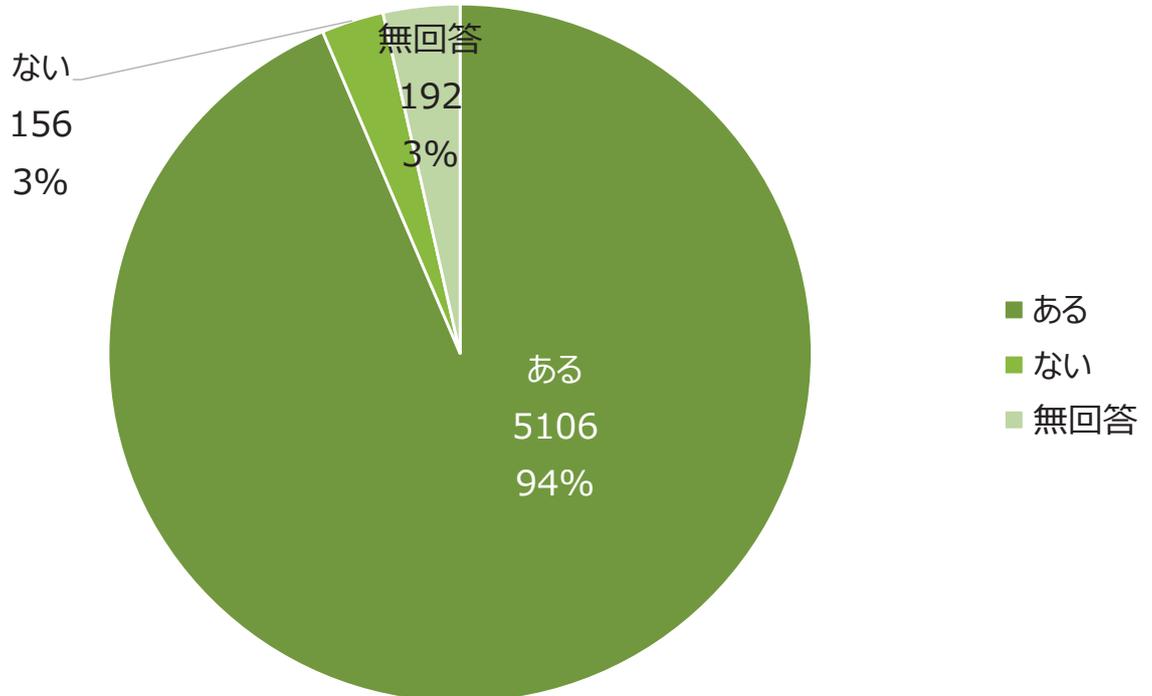


n=5,286

■ 一番多かったのは「配偶者・パートナー」(2,933人、55.5%)、次いで「ご自身の子ども」(2,169人、41.0%)、「友人・知人」(1,636人、30.9%)となった

15

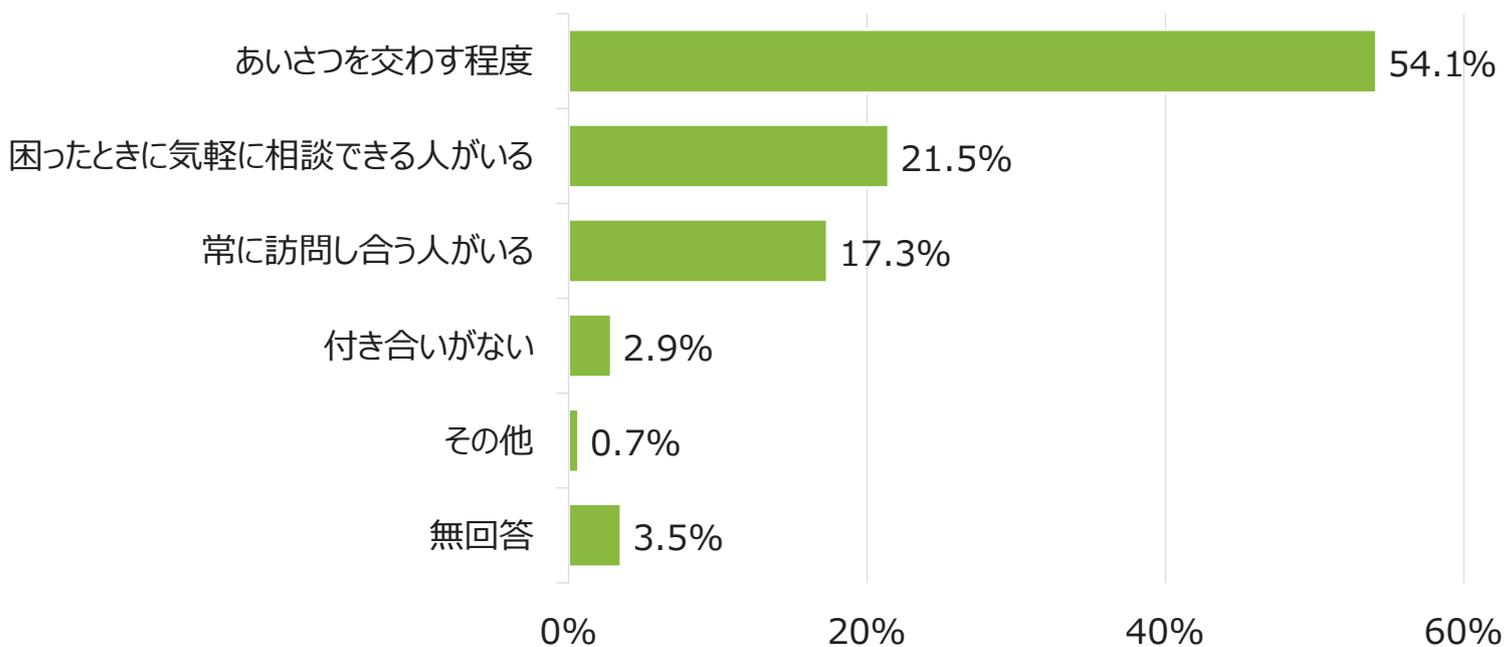
## 近所との付き合いの有無



n=5,454

■ 近所付き合いの「ある」人が5,106人(93.6%)、「ない」人が156人(2.9%)であった

## 近所付き合いの状況

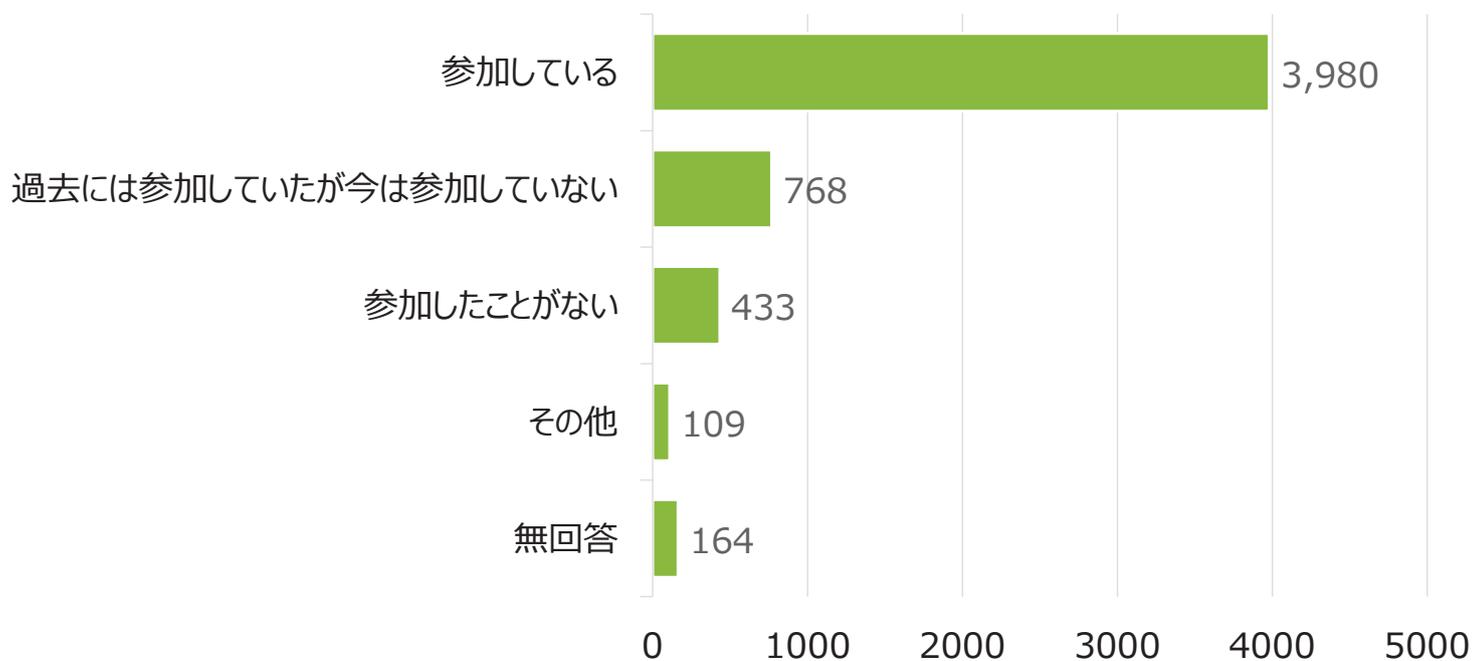


n=5,454

- 一番多かったのは「あいさつを交わす程度」(2,953人、54.1%)  
次いで「困ったときに気軽に相談できる人がある」(1,170人、21.5%)となった

17

## 地域活動への参加状況

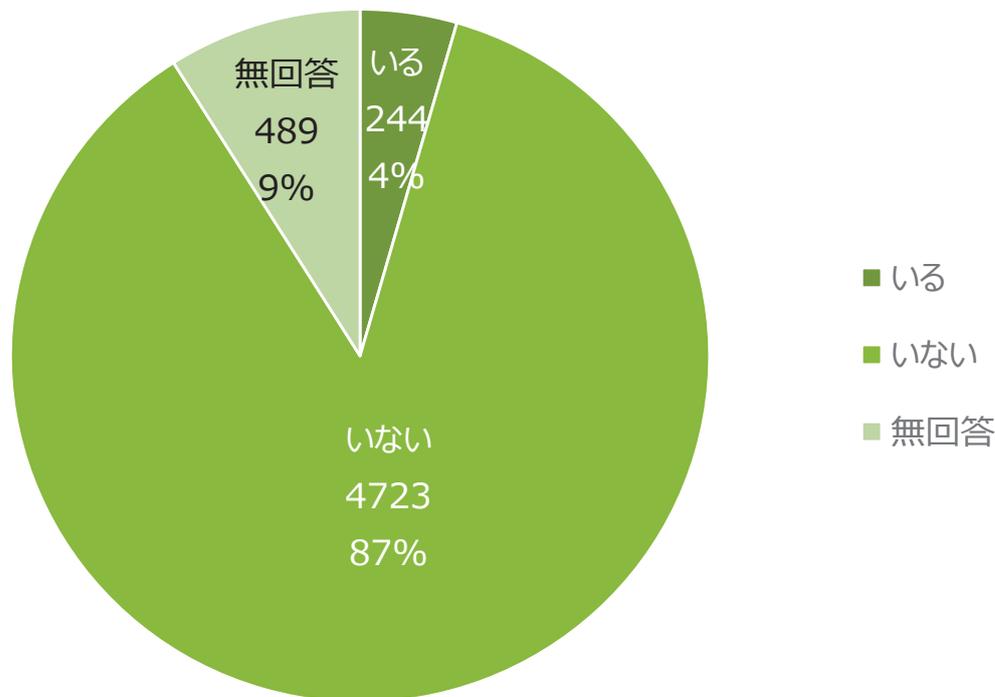


n=5,454

- 「参加している」人は3,980人(73.0%)、「過去に参加していたが今は参加していない」人が768人(14.1%)、「参加したことがない」人が433人(7.9%)であった

18

## 仕事や学校に行かず、家族以外の人との交流がほとんどない方の有無



- 該当者が世帯内に「いる」と回答した人は244人（4.5%）であった
- なお、世帯内に該当者が「1人」と回答した人が224人（4.1%）、「2人以上」が20人（0.4%）だった

n=5,454

19

## 仕事や学校に行かず、家族以外の人との交流がほとんどない方の有無

5,454世帯に当該状態の人が271人

2023年11月末時点の市の人口が27,342人（うち65歳未満16,740人）なので

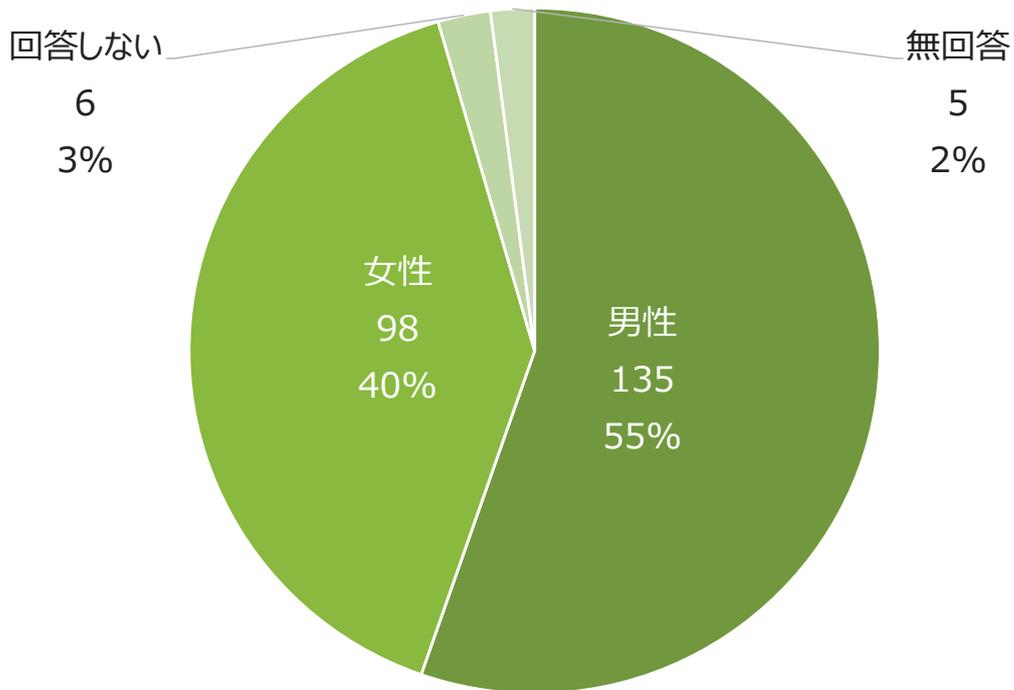
少なくとも市内の65歳未満のうち1.6%がひきこもり状態にある

単純に回答率を基に市内全体の数を推計すると、487人、65歳未満人口の2.9%いることになる

### 参考 他自治体の調査結果

自治体名	対象数等	割合	調査年	方法
関川村	1,593世帯	2.95%	R5年	全数調査
横浜市	約3.3万人	1.46%	R4年	標本調査
大阪市	約4.1万人	2.41%	R3年	標本調査
江戸川区	7,917人	4.39%	R3年	全数調査
津南町	90世帯	3.5%	H30年	全数調査
秋田県藤里町	113人	8.74%	H23年	全数調査

## ひきこもり状態にある人の性別



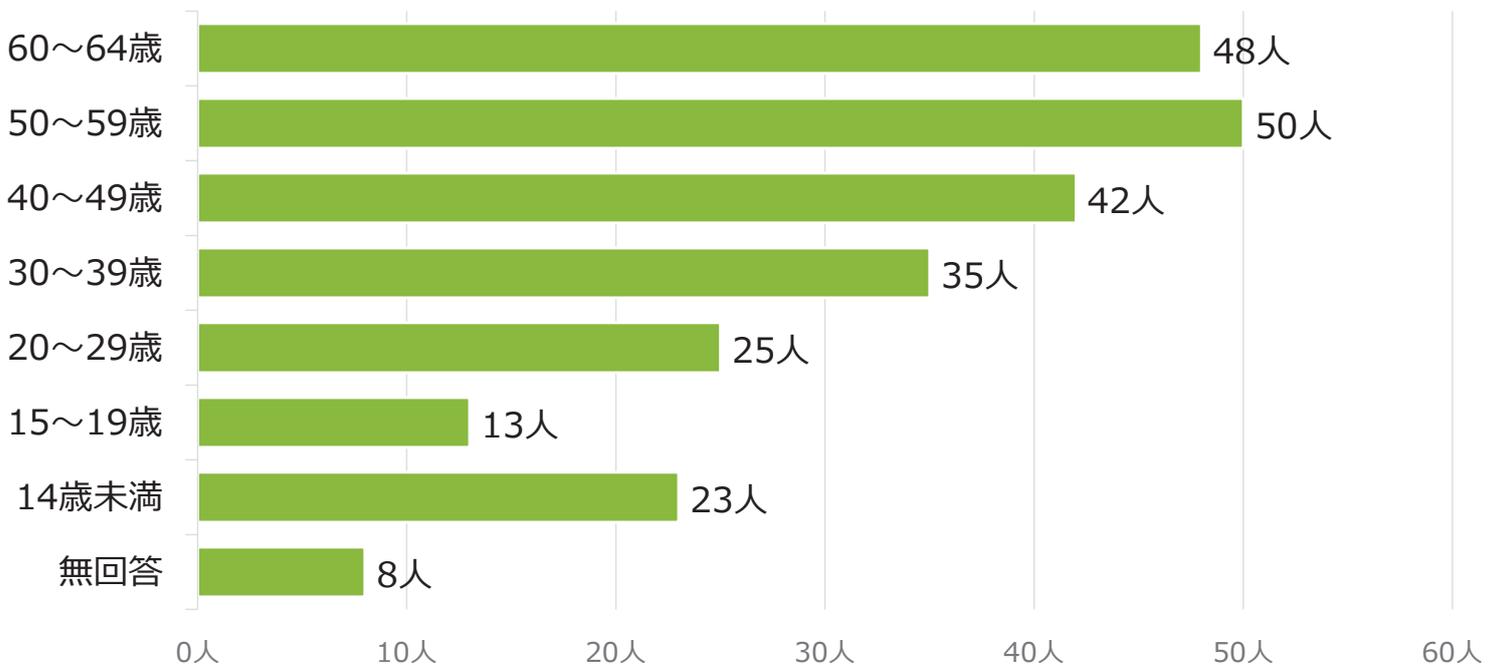
※世帯内に複数いる場合、一番若い人について回答を依頼

n=244

- 男性135人（55.3%）、女性98人（40.2%）、回答しない6人（2.5%）であった

21

## ひきこもり状態にある人の年齢



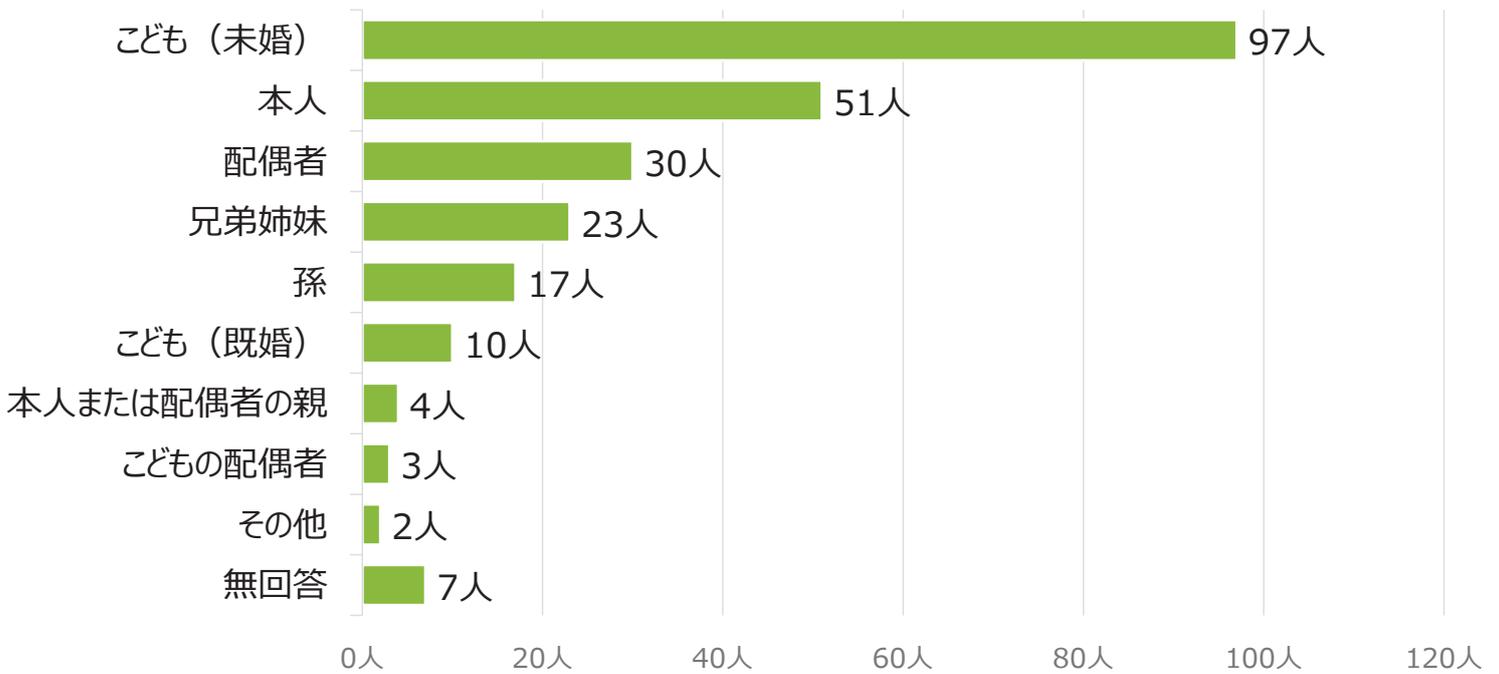
※世帯内に複数いる場合、一番若い人について回答を依頼

n=244

- 一番多かったのは「50代」（50人、20.5%）次いで「60代」（48人、19.7%）、「40代」（42人、19.7%）となった

22

## ひきこもり状態にある人の回答者から見た続柄



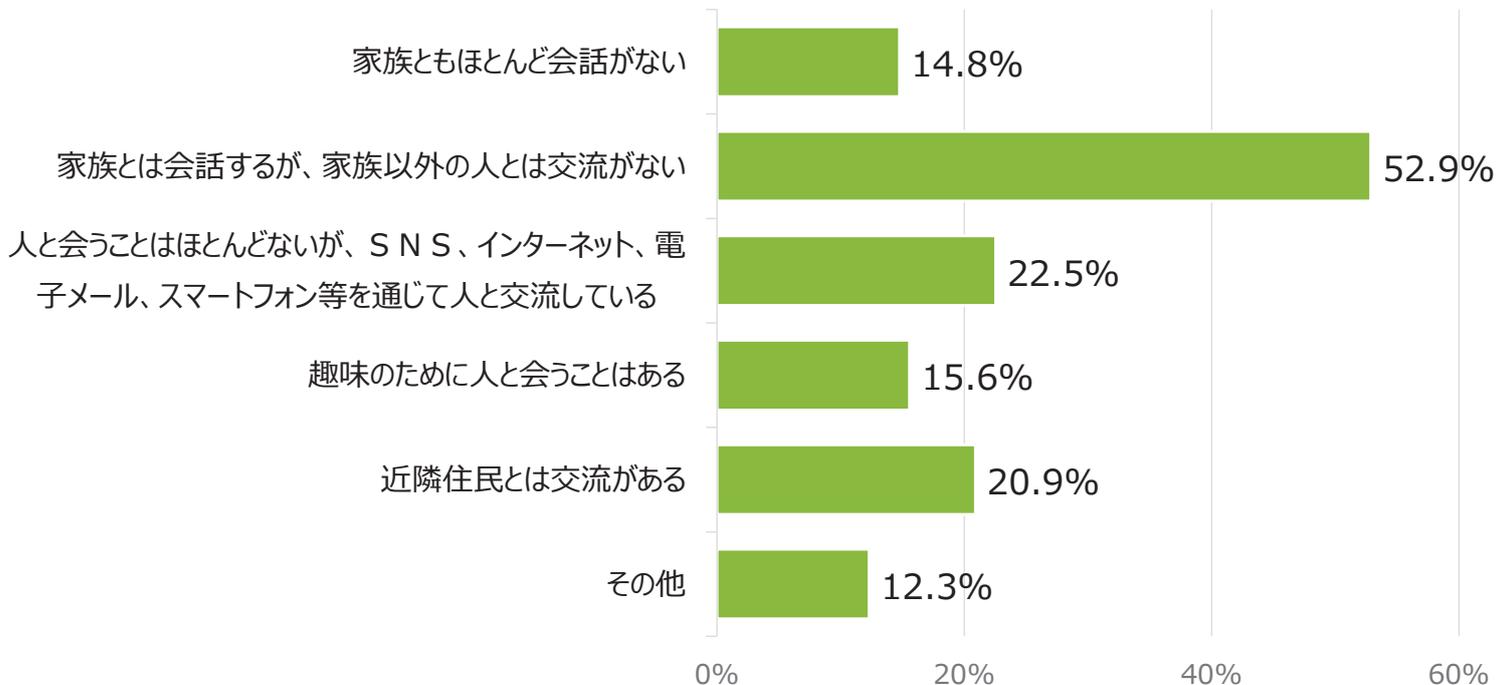
※世帯内に複数いる場合、一番若い人について回答を依頼

n=244

- 一番多かったのは「子ども（未婚）」（97人、39.8%）  
次いで「本人」（51人、20.9%）、「配偶者」（30人、12.3%）となった

23

## ひきこもり状態にある人の交流の状況



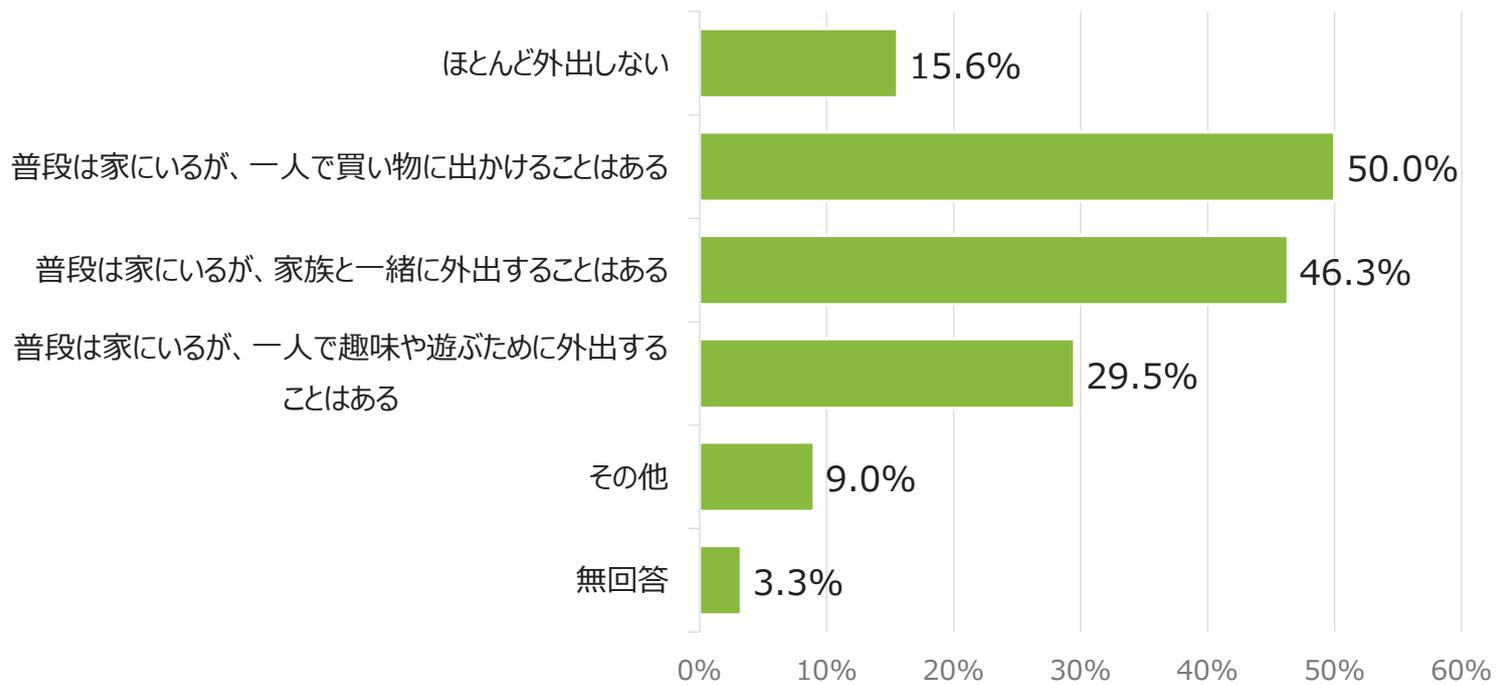
※世帯内に複数いる場合、一番若い人について回答を依頼

n=244

- 一番多かったのは「家族以外とは交流がない」（129人、52.9%）  
次いで「非対面での交流がある」（55人、22.5%）となった

24

## ひきこもり状態にある人の外出の状況



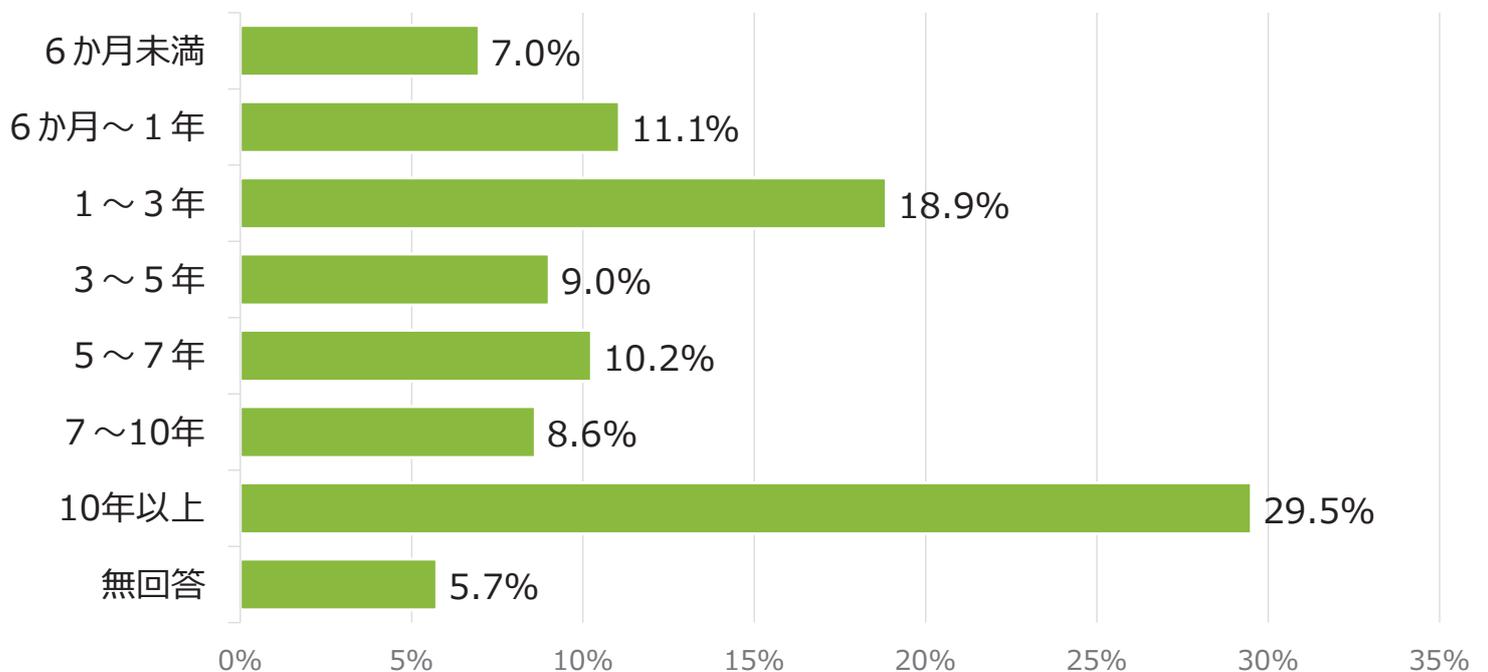
※世帯内に複数いる場合、一番若い人について回答を依頼

n=244

- 一番多かったのは「一人で買い物に出かけることはある」(122人、50.0%)  
次いで「家族と一緒に外出することはある」(113人、46.3%) となった

25

## ひきこもり状態にある人の経過年数



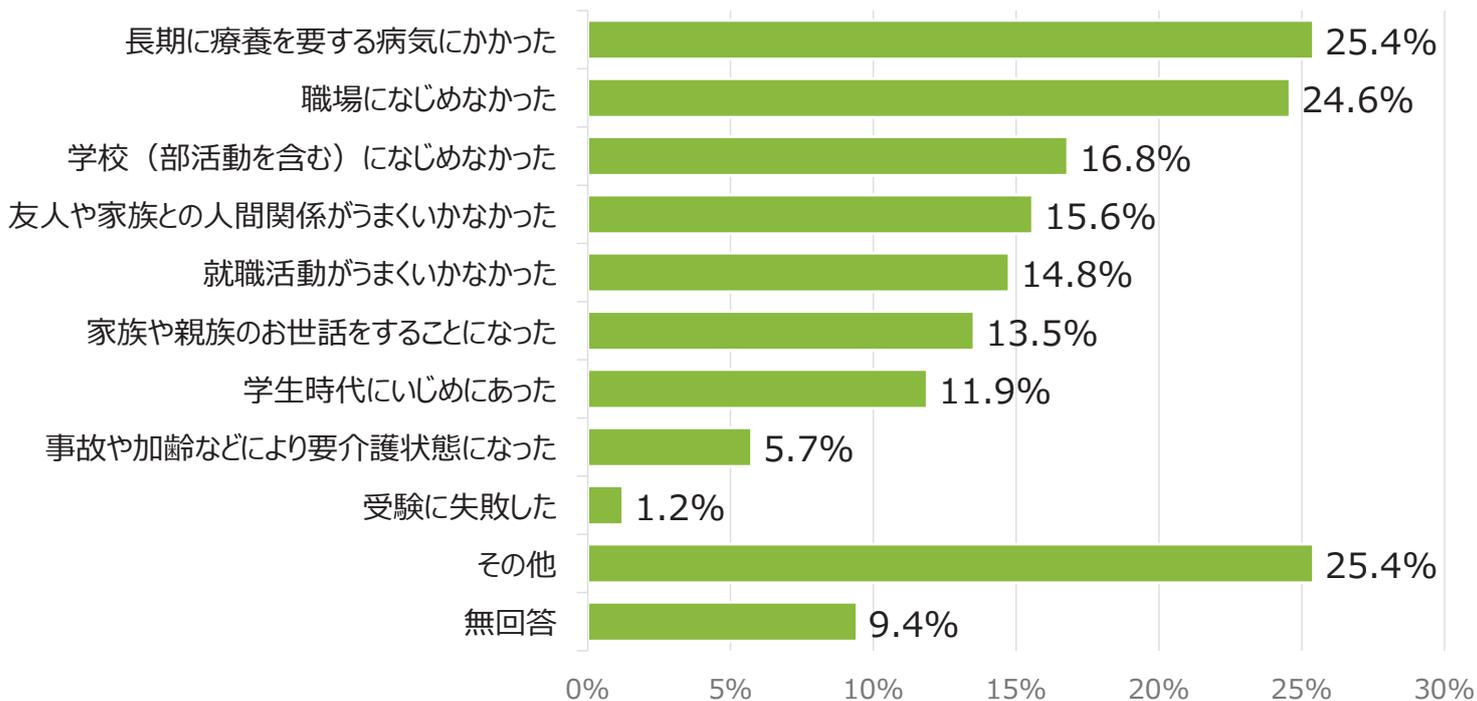
※世帯内に複数いる場合、一番若い人について回答を依頼

n=244

- 一番多かったのは「10年以上」(72人、29.5%)  
次いで「1～3年」(46人、18.9%)「6か月～1年」(27人、11.1%) となった

26

## ひきこもり状態にある人のひきこもったきっかけ



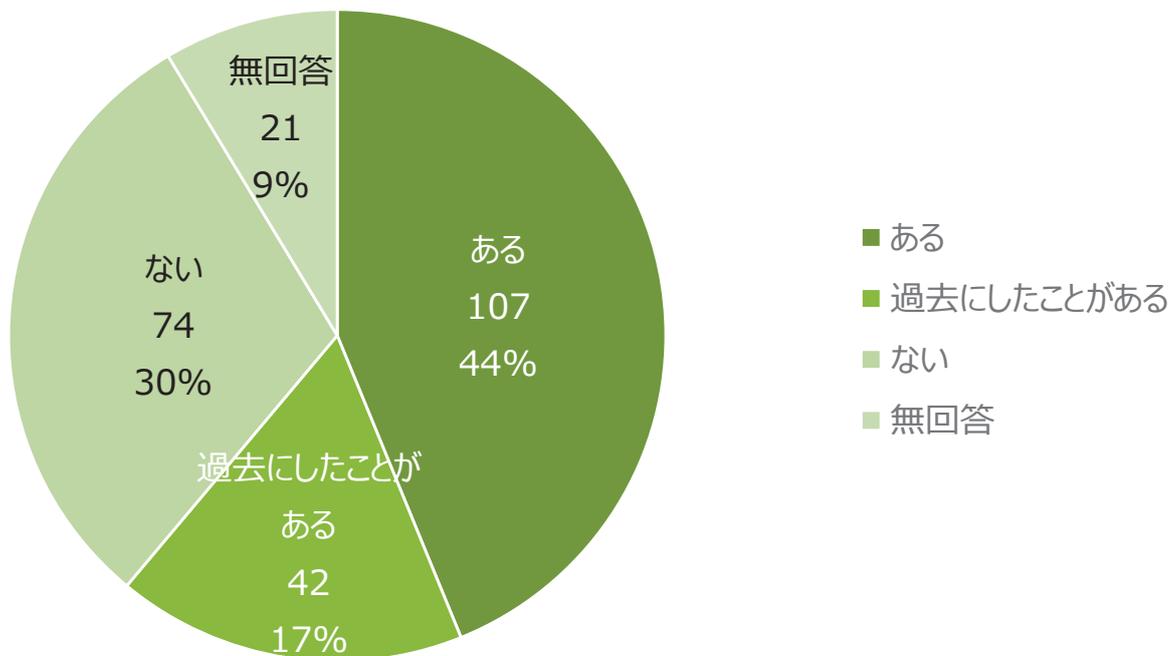
※世帯内に複数いる場合、一番若い人について回答を依頼

n=244

■ 一番多かったのは「長期療養の病気・その他」（62人、25.4%）、次いで「職場になじめず」（60人、24.6%）「人間関係がうまくいかず」（38人、15.6%）となった

27

## ひきこもり状態にある人に関する相談の有無

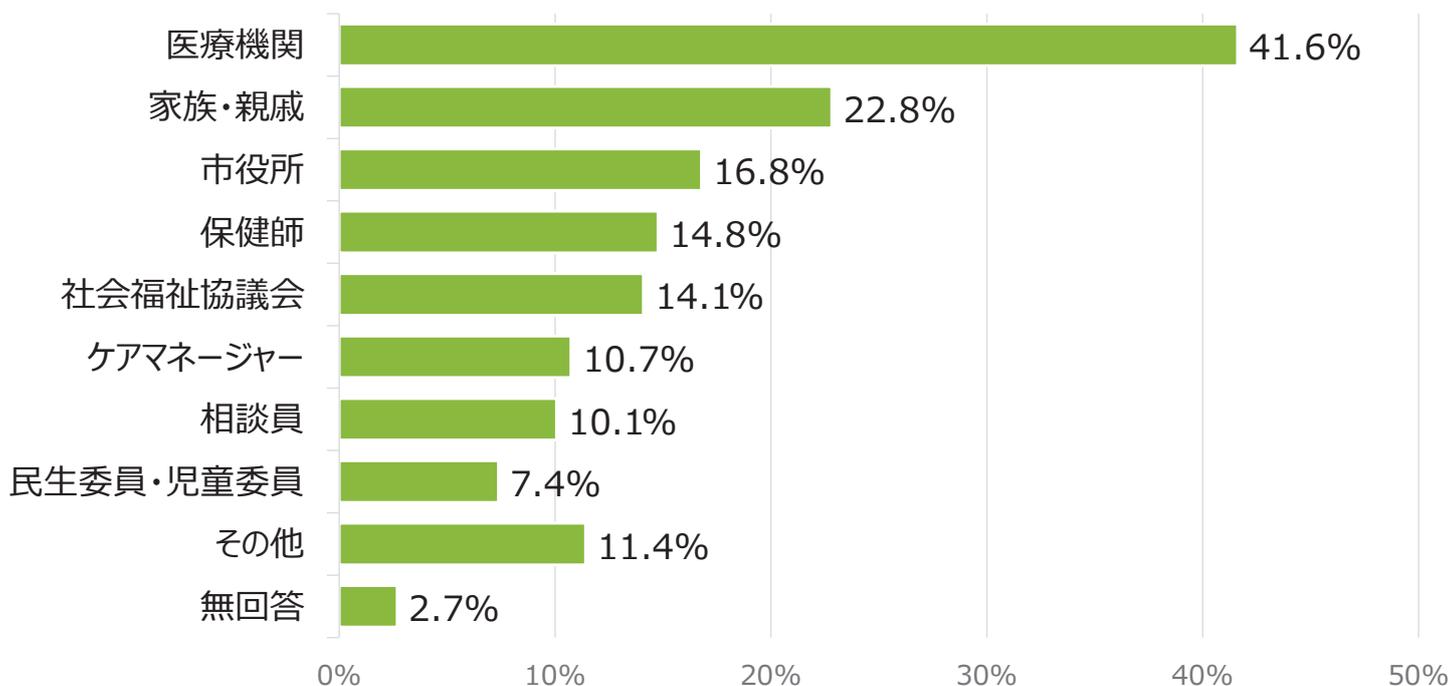


※世帯内に複数いる場合、一番若い人について回答依頼

n=244

■ 「ある・過去にしたことがある」149人（61.1%）、ない74人（30.3%）となった

## 相談した相手・機関



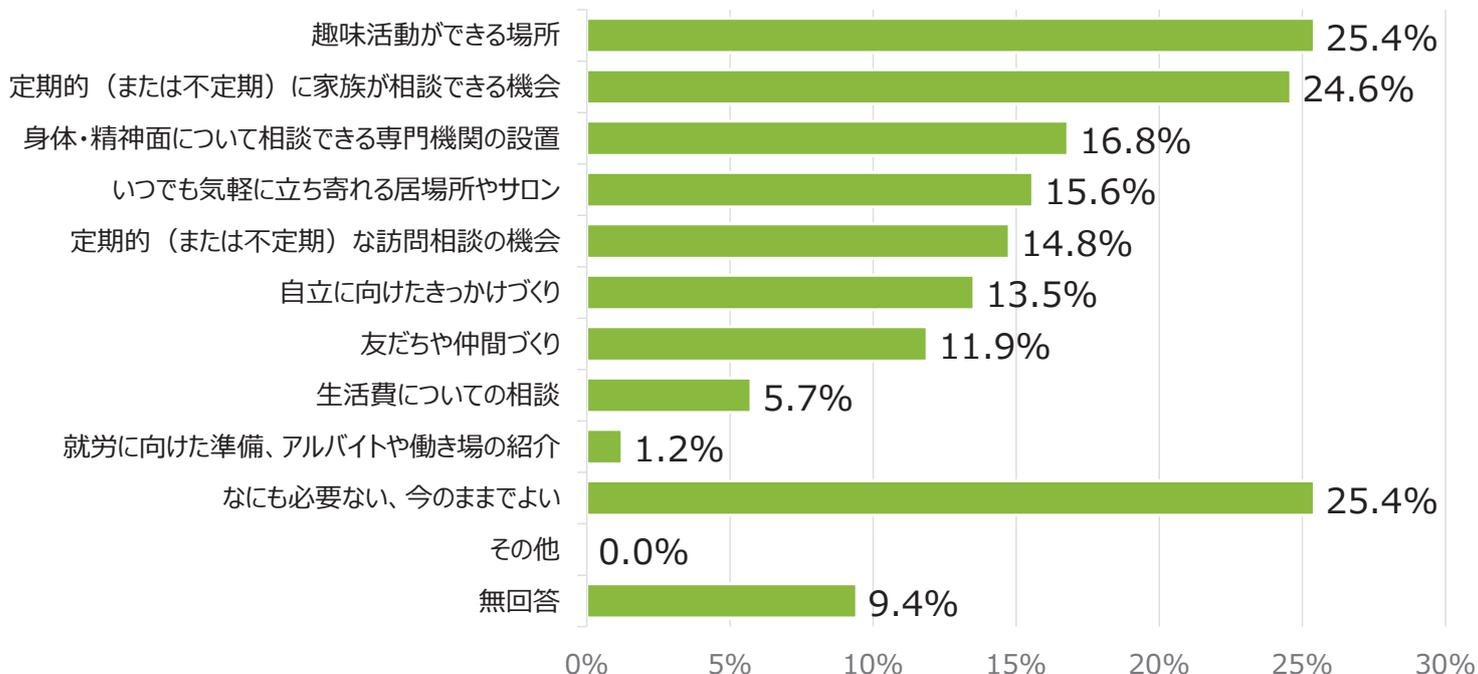
※世帯内に複数いる場合、一番若い人について回答を依頼

n=149

- 一番多かったのは「医療機関」(62人、41.6%)  
次いで「家族・親戚」(34人、22.8%)「市役所」(25人、16.8%)となった

29

## 求められている事項



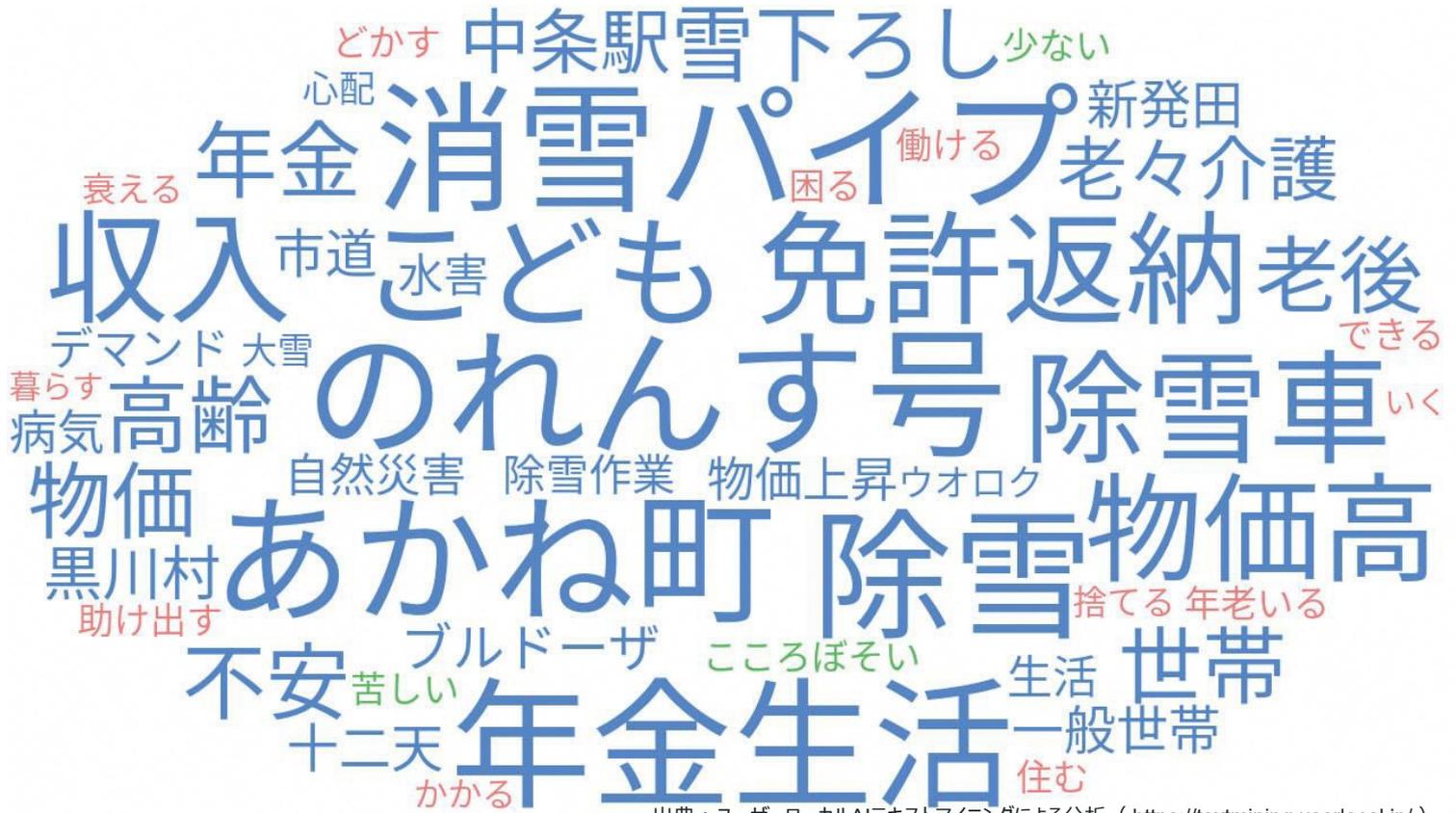
※世帯内に複数いる場合、一番若い人について回答を依頼

n=244

- 一番多かったのは「趣味活動ができる場所／必要ない」(62人、25.4%)、次いで「家族相談の機会」(60人、24.6%)「専門機関の設置」(41人、16.8%)となった

30

不安に思う具体的な内容から（スコア順）



出典：ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析（<https://textmining.userlocal.jp/>）

31

- 年代、性別、居住地区によるクロス集計は？

## 現在詳細を集計中

## 報告書にて公表予定です。

## 2. 講演「生きるって、なに？」

～自分らしく生きて、自分を好きになろう！～

講師 地球の広報・旅人・エッセイスト たかのてるこさん

【メ モ】

## 3. トークセッション

「誰かの “ 生きる ” を応援するためのおはなし」

〈パネリスト〉

地球の広報・旅人・エッセイスト たかのてるこさん

NPO 法人 新潟ねっと 代表理事 村山 賢さん

〈コーディネーター〉

新潟大学歯学部（福祉学分野）准教授 中村 健さん

【メ モ】